



Subaru

男声合唱団

ニュース740

'20. 8. 23

## 酷暑の毎日、昂B班レッスン開催！ 藤後名誉団長から残暑見舞い！

8月21日



□8月21日(金)、集合時間間際の夕刻に大阪市内も激しい雷雨に見舞われる、猛暑の夏日、昂はB班が18:00から、レッスンを開催しました。

参加者は、まず検温・アルコールでの手洗い消毒、マスク着用で、出入り口と窓の換気・通風を行っている部屋に入室し、レッスンに備えました。

レッスン曲：「見上げてごらん夜の星を」「U Boj!」「死んだ男の残したもの」「朝露」

参加者は全16名（T1：4名、T2：4名、BR：3名、BS：3名＋指揮：伊藤さん＋ピアノ伴奏：森二三さん 本並先生はT2で参加）

奥村さんの体操・千秋さんのヴォイストレーニングにはじまり、伊藤副指揮者の指揮のもと、まず「見上げてごらん夜の星を」をレッスンしました。30分にわたりレッスンし、15分余りの休憩・換気を行いました。

□休憩・窓の換気を15分。立川事務局長からの報告・連絡。休憩を終わり10分ほどの時間、千秋さん作詞・森二三さん作曲「膝をどけろ」の歌唱指導を受けました。黒人差別で殺された今回のあつてはならぬ殺人行為を糾弾して抗議する世界の声を「膝をどけろ！」と歌いました。

□引き続き、伊藤さんの指揮で、「死んだ男の残したもの」「朝露」をレッスンしました。

## 連絡・報告事項

### (1) 2019年度昂総会のお知らせ

2020年8月30日(日) 9:30~11:30 (会議はできるだけ2時間で!)

新大阪ココプラザ505号室 (地下鉄・JR 新大阪駅より徒歩5分)

集合時間: 9:20 「昂総会議案書」を8月21日に配布しました。事前によく読んで総会に出席ねがいます。

なお、出席・欠席の連絡をお願いします。発言時間が短いため、事前に、発言したいことをメールや電話で伝えていただければありがたいです。

### (2) 「定例レッスン参加者割り振り表 9月~12月」について

各パート別に、A班・B班とわかれていきます。各パートリーダー・マネージャーはレッスン参加者の確認と当面「9月レッスン参加者割り振り表」を連絡願います。(山本宏司まで)

昂通信 No. 10

昂名誉団長の藤後さんから残暑お見舞いのお便りが昂の皆さんへ届けられました!!

同時に昂創設段階の「昂を創ろう! 団員募集の呼びかけ」「昂ニュース2号・3号」が若々しい!!

そして戦後75年のいまも「藤後通信」を編集し、新聞・マスコミ・関係団体へ、「二度と戦争を起こしてはならない!」と自己の体験を語り部としての役割を務めておられます。

残暑お見舞い  
申し上げます  
二十年 立秋  
すみません、便箋切らなくお  
普通紙でゴメンなさい。  
ニコール、昂、いつも楽しく拝  
見させて頂き、その言葉に感心  
謝しつづけます。がんばり下さい。  
宝は他にもありせんか、昂総会  
が近日中に決まると又由、又機会に  
昂創立ちつづきつづくと、団員の皆  
さんに知ろ頂くことに意思があるの  
ではと思つ、結成の呼びかけのビラ  
なども同封しやうとした。  
ご検討下さい。  
昂総会への成功を祈念し  
止みません。  
藤後博巳

2000年、今から20年前に藤後さんが「大阪に男声合唱団を創ろう！」とのメッセージです。

## 大阪に 男声合唱団を！

関西合唱団の主婦を中心とした、女声コーラス「レガータ」が誕生して随分久しい。当初は関西合唱団の主婦班として出発し、今では団外で多くの女性たちも集めて、「うたごえ運動」だけの分野にとどまらず、合唱連盟系の中でも活発に活動している。いま、日本の合唱分野では「うたごえ」「合唱連盟」を問わず、女声群が男声群をはるかに抜いて圧倒的に多いことは、周知の事実である。

一方男声はどうだろう。いまの大阪の「うたごえ」の中に見てみると、女声に比べて男声の数は断然少く、男声合唱サークル（組織）といえば職場の一部を除いて皆目ゼロに等しい。大阪を問わず全国的な傾向として、混声合唱分野の全体構成人員の減少・歩留まりに残念ながら歯止めがかかっていないと私は思う。中でも男声不足が深刻だ。この問題は今や、全国的に共通した緊急課題になっているのではないか。実をいうと他聞にもれず「河南混声合唱団」もその打開策に苦慮し、克服に努めているところである。

数名から10数名が多いという現存のうたごえサークル（組織）は、いつまでも小編成に甘んじることなく、真剣に仲間増やし（わたしの理想基準数は30名）に創意、工夫をこらして取り組むことが、うたごえが21世紀にむけて大きく羽ばたいていくうえにも、運動の裾野を幅げ、強化していくうえにも、大切な「要」でもあると思う。しかし、私はこれという決定的な解決方法は残念ながら、持ち合わせていないが、今回の男声合唱サークル（組織）を「いまなぜつくるのか」という宿題を、暗中模索する中で私なりの一つの方法として、男声合唱サークル（組織）をつくること、この問題解決のひとつになるのではないかと思ってきた。また、昨年のうたごえ合発で地域の分野で一位を獲得した愛知の「OH！人生男声合唱団」の旺盛な演奏活動の活躍ぶりを聞くに及んで、刺激され、つくる一つの要因になった。

### ●私の主な動機を並べてみると

- ① 多人数で、男声ならばでの渋さ、男性的な魅力で、ロシア民謡など歌ってみたかった
- ② おくがましいことだが、「レガータ」の男声版のようなものに挑戦してみたかった
- ③ 大阪のうたごえで女声コーラスの多い中、大阪の地域で男声合唱サークル（組織）がないのが不思議に思った
- ④ 混声合唱の中で男声の補強が、いまどこでも強く求められていることはいうまでもない。それを補う一つの方法は、男声合唱サークル（組織）を育成していくことが、混声合唱組織のプールにもなり、一助になるのではないだろうかと言う期待感
- ⑤ 「男声だけで歌ってみたい」という声が、私の周辺に案外と多い
- ⑥ 条件の合った指揮者・伴奏者と、地理的条件がよく、低料金の会場があった

### ●そして、その構想はどうか

- ① 当初の対象者は、うたごえのOB・現役を中心に合唱の経験者で最低20名で発足。逐次、初心者をお誘いしていく。
  - ② 練習は月1回（第3日曜日の午後）とし、早い時期に月2回を目指す。練習後は交流の場を設け、親睦を深める。
  - ③ 会場は交通の便のよい大阪市内中央区の谷町にある日本ユーラシア協会（合唱団「コスモス」会場、ピアノ常設、30人収容可能）
- はたして、この大阪で地域の男声合唱サークル（組織）が、いったい出来るのか。それはやってみないと答えはでない。しかし、確信はある。それはつくる上で好条件が整っているという強みと、50年にわたる「うたごえ運動」で築かれた成果に依拠し、多くのうたごえの仲間によびかけて、まず、一歩脚を踏み出すことが答えを出す、証しになるのではないかと。

なお、「昂」はあくまでも仮称で、外にふさわしい名称があれば、ご提言を。  
みなさんのご賛同を乞い、ご参加を心からみなさんに呼びかけます。

2000年2月

藤後博巳

男声合唱団  
「昂」機関紙

**昂**

# No. 2 b

2000.11.10



11・12月  
練習日  
11/19(日)  
12/17(日)  
忘れないで手帳に記入を

## 合唱団コスモスの ロシア民謡の夕べ

●12月 2日(土)  
午後6:30~8:30  
●大阪グリーンホール  
詳しくは同封のチラシをご覧ください



Hello

### ロシア民謡の夕べに 「昂」が初出演?

いままでに、「昂」は公の場所で歌って・宣伝する機会が一度もありませんでしたが、そのときがきました。「ロシア民謡の夕べ」です。

19日の練習日にみんなとご相談しますが、できるだけ参加していただき、歌を披露したいと思っています。

本並さんの考えとしては、「航路」「水夫の労働歌」など出されています。もちろん。当日はあくまで自主参加です。

なお、チケットは藤後まで。

## ♪こんな歌は どうかーなー ーみなさんから希望曲をー

いままでのいきさつから、選曲については本並さんに頼らざるを得ませんでしたが、この辺でソロソロみんなで希望曲を出しあっているところだと思っています。

本並さんを中心に選曲部をつくって、みんなから出された曲をそこで選ぶといった形にぜひもっていきたくて・・・・・・。創作曲も含めて、みんなでぜひ歌ってみたい曲があれば提出してください。

### □ソロソロみんなで□ ー「昂」の運営をー

今春の発足からいまだ、一部の者で団を運営してまいりましたが、ソロソロこの辺で集団運営に切り替えていかねばならないと、運営に無理が生じてきます。その辺の話を、12月17日(日)の練習のあとに「望年会」をひらいて、一献交わしながらしたいと思っていますがいかがでしょうか。

なお、メンバーは団長、事務局長、会計の各1人と指揮者を入れた3人ぐらいで、技術部をつくって新年度を目処に発足させていきたい考えです。

## 久々に ニュース『昂』の登場! 長い間の休刊ゴメンナサイ

長い間、ニュースの代わりにハガキや手紙で団員とのパイプをつないでまいりましたが、これだけでは団員同士の意志の疎通も、団の発展にもならないと気づき、9カ月ぶりにニュースを発行します。みんなの手で育てていきたいと思っています。

団員の数も創立当初からあまり変わらずに何とか現状維持しています。これまで都合で来れない人が2人、なんらの沙汰もない人が1名と、考慮中で団費未納2名を除いて、現勢は22名となっています。

当初目標の30名には未定2名を入れるとあとちょっとというところです。関西合唱団などOB・友人に誘いの一声かけよう!



11月の練習日は  
19日(日)です

男声合唱団  
「昂」機関紙

**昂**

# No. 3 b

2000.12.6



12月の練習&  
総会・忘年会  
17日(日)  
(難)2:00~4:15  
●総会・忘年会●  
4:30~7:00

## 合唱団コスモス

### ロシア民謡の夕べ

#### ー「昂」が初出演ー

ウクライナのソプラノ・ナターリアさんをゲストにむかえての「ロシア民謡の夕べ」は、110人も人が参加という盛況ぶり。夜のひとときをみんなでロシアの歌を思いきり歌い、ナターリアさんの透き通るような美声に酔いしれました。

当夜の唯一の団体参加だった「昂」の14人が公の場ではじめて出演し、「水夫の労働歌」と「航路」を歌いました。参加者からは「航路」がよかったとの評もあり、まあまあの出来。

併せて参加者に団員募集のチラシを配ることも忘れずに、「昂」の宣伝をしました。

### 4人の仲間を迎えて 団員は26名に!

ちあき昌弘君(T)/奥野 達郎君(B)  
岡邑 洋介君(T)/林 弘訓君(B)

この夏は、団員の練習参加も低迷気味でしたが、秋に入ってから新しく錚々たるメンバーを迎えて参加者もUPし、その低迷を破って「昂」団も活気づいてきました。うれしいことです。

今回の入団者の特徴は、全員4名が関西合唱団のOBで、そのうち現役組のバリバリが2名。あとの2名は数十年前のカムバック組と二分していることです。

これで発足のときの20名から、この9カ月間で6名の増えになりました。目標の30名はほんの目の先です。うたごえのOBの仲間に積極的に声をかければ、応えてくれることが実証されました。この勢いで団員一人ひとりが、かつての仲間に、うたが初めての人にも参加を呼びかけましょう。

そして、もうひとつの課題でもある月2回の練習の実現を目指して努力しましょう。よろしくお願ひします。

(裏面に12月現在の団員名簿掲載)

### 団総会&望年会

12月17日(日)/練習後の4時  
半から7時まで/「ゴリ」5Fホール

今年最後の練習のあと総会&望年会を最近見つけた行き付けの店「ゴリちゃん」(難波駅前)でやります。ここの大将は店名の謂れはともかくとして、大変気さくで豪快で、広東語も少し話す愉快な方です。初めに世話役の事や2001年の抱負を語り合う総会みたいなものやあって、その後は大いに飲んで歌って親睦を深めます。会費は3,500円で飲み放題。都合で出られない方は、事前に藤後(☎・fax 072-1-34-1874)まで、できるだけ早くご一報ください。

## (京都)男声合唱団 すばる

### 15周年記念コンサート

12月3日、男声合唱団「すばる」の創立15周年記念コンサートに、「昂」代表の私が表敬訪問の意味合いを含めて参加した。この団は、12名で構成され、当初からほぼこの員数が維持されているとのこと。月2回の練習だが、こももみな忙しくて参加が大変のようだ。

団独自のコンサートは今回が初めてで、他団体とのジョイント公演は4回ほどを経験している。全国の地域のうたごえ男声合唱団では、経験を積んだ数少ない精鋭のひとつで、この分野の先達者とも言える存在。

聴いた感想は、さすがに一人一人がソロをこなすといった精鋭揃いだけあって男声ならではの洗練、魅力がたっぷり発揮され、いままながら男声の良さを再認識した。プログラムは力強い労働歌あり、コント風ありで時間の経つのを忘れさせて聴かせてくれた。中でもこの15周年を記念して編曲された「アメージング・グレイス」の初演奏は、その意欲的で前向きな姿勢には、私は大いに刺激になり勉強にもなった。お土産にこのアメージングの楽譜をいただいていた。よければ「昂」でも歌ってみたいものだ。

終了後、私は厚かましくも(知人のこの団の指揮者の誘いもあって)打ち上げと、忘年会に参列させていただいて大いに交流し(大先輩を称えて)ためになる話を拝聴した。先輩格の「すばる」の備前について、こちらのその謂れについて説明をし、「すばる」の団長さんに「同名称が2つあってもよい」と了解していただき、今後、うたごえの男声合唱の発展と交流の実現を目指してともに頑張ろうと一献交わし合った。(藤後博巳)

## 藤後通信

2020年8月15日



### 特集 敗戦75周年、抗日戦争勝利75周年を迎えて

(5)

2020年8月15日

(毎月5の日、月3回発行)

日中友好新聞



敗戦翌年3月のハルビン、外に厳しい凍土の世界。ある朝、ビックニコースが飛び込んだ。「突然、八路軍（東北民主聯軍）が現れて市街を完全に制圧した」と。八路軍といつても当時の私にとつては遙か遠く、未知な存在であった。それが突然現れたのである。

初めて目にする彼らは、百姓に軍服を着せ、鉄砲を持たせたような恰好だった。こんな貧弱な軍隊が、なぜ強敵の日本軍を打ち負かし、抗日戦争を勝利に導いたのか、不思議でならなかった。

の軍隊が人類史上、稀と言われるほど優れた軍紀

## 人民の守護者だった 八路軍

藤後 博巳

そのいわれは、私が東北民主聯軍に従軍後、こ

中国革命のその後の変動は、これが権力の座につく一時的にしろ、変質する個性があることを如実に示している。

天安門前で、かつて私

(大阪府連合会顧問)

この軍隊が一刻でも民衆から離間すると、生命そのものも保てないという、中国革命そのものの厳しさとも関連しているということも知った。

これは、私が生死をかけて新しい国づくりに関わった一人として、歴史的な抗日戦争勝利75周年を迎えるに当たって、私の率直な提言でもあり、その権利を有していることを、敢えて主張するものである。

(三大紀律・八項注意)をもち、民衆との結びつきを特に重視した中国共産党が生み育てたという、文字通り人民の守護者だったことを知った。

今また、香港で再び31年前の天安門のような人権弾圧が中国当局によって行われていることを、私は大変危惧している。



八路軍時代の藤後さん

とともに戦った第三八軍の後輩たちが、守るべき民衆に向けて発砲するといふ、はなはだ憂慮すべき、信じられない事件が起こった。いつ、権力者を守るための軍隊に変質してしまったのか！

この記事とは別に、毎日新聞 8月22日夕刊に「義勇軍 加害者で被害者 富田林の91歳「国が仕立て、捨てた」のインタビュー記事が掲載されています。」「紫金草ニュース」に転載しています。また「atomos.ezweb」さんからも鼎へ投稿いただいております。ありがとうございました。